

社外取締役メッセージ



大嶽 佐由美 取締役（非常勤・社外取締役）

日本の企業経営のグローバル化がさらに進み、サステナビリティ、ダイバーシティやガバナンスなど、世界基準で捉えることが益々重要になっていることを日常的に実感しています。エスビー食品の取締役会では、グローバル企業のマーケティングコミュニケーションやリスクマネジメントに携わってきた経験を活かし、引き続き積極的に質問や意見を述べることを心掛けています。マネジメントによる活発でオープンな意見交換、多様な視点の取り込みを促進し、企業価値の向上に寄与するべく努めてまいります。



瀧野 敏子 取締役（非常勤・社外取締役）

当社は、創業101年目である2024年を通過点と認識し、今後の成長戦略の肝となる20年後のビジョンとして「海外売上高比率40%超」を掲げています。その実現には現在の製品群の進化とともに世界で闘う武器として科学的エビデンスをもつスパイス&ハーブの研究・製品開発、マーケティング並びに物流ネットワークの確立が求められます。この壮大な構想を形にするためのスキルを備えた海外での経営経験をもつ多様性に満ちた人材の拡充が急がれます。この点を最優先事項として今後も経営を注視していきます。



葛山 康典 取締役 監査等委員（非常勤・社外取締役）

エスビー食品は監査役設置会社から監査等委員会設置会社へ移行し、新しい体制を整えました。監査等委員として、コーポレートファイナンスの知見を生かし、財務の健全性を維持・発展させることを旨とし、経営の透明性を確保するよう尽力いたします。また、リスク管理の観点をふまえて、企業価値の向上と持続可能な成長に資するよう、経営陣とのコミュニケーションを大切にしながら、より強固なガバナンス体制の構築に取り組んでまいります。



松家 元 取締役 監査等委員（非常勤・社外取締役）

監査等委員会設置会社への移行にあたって社外取締役（監査等委員）に選任され、取締役会で議決権を行使することとなり、社外監査役時代の実務法曹としての視点に加え、経営の視点も意識して活動しています。社外監査等委員としては、他の監査等委員と協調し、内部監査部門とも一層の連携を図りながら、社内外のさまざまな階層の情報に接し、企業の信頼性と持続可能な成長を支えるため、一般株主をはじめとする多様なステークホルダーに成り代わって、今まで以上に積極的な関与を心掛けたいと考えています。



鵜高 利行 取締役 監査等委員（非常勤・社外取締役）

企業の法的健全性を確保することは、持続可能な成長にとって極めて重要です。公認会計士および税理士としての専門知識と経験を活かし、財務諸表の正確性を確保し、コンプライアンスやリスク管理の強化に取り組んでまいります。また、経営陣との対話を大切にし、企業文化の向上にも寄与したいと考えています。意見交換を通じて、より良いガバナンス体制を構築し、すべてのステークホルダーにとって信頼される企業であり続けるよう尽力してまいります。